

## 令和3年度 第2学期終業式あいさつ

令和3.12.20

はじめに、先週の金曜日の午後から嵐のような風が吹き荒れたお天気になりました。校内の施設が心配になり、確認するため校内を回っていたら、自転車置き場の自転車がいたところでドミノ倒しのようになっていました。ヘルメットも散乱し、大変な状況でしたが、倒れた自転車を起こしていると、何人もの生徒が手伝ってくれました。寒い中、倒れた自転車のタイヤのスポークに、隣の自転車のハンドルのグリップやブレーキのレバーが挟まり、なかなか抜けないような状態でしたが、手伝ってくれる生徒の表情は、あきれてしまうほどの強すぎる風が時折吹く中でも明るく、一緒に作業をしてくれました。松山北高校の校訓「文武心」の心である優しい心根を見ました。困った人にそっと手を差し伸べることができる「小さな優しさ、思いやり」を身につけた人が増えてくれることを願っています。

さて、2学期も今日で終わります。また、あと11日で令和3年が終わろうとしています。皆さんにとって、今年は、2学期も含めてどのような年でしたか。

4月の始業式から、目標を立てることの大切さを話しました。1年、6か月、3か月、1か月後に、自分がどのようになっていたいか想像し、その具体的な目標を達成するために、今の自分は何をなすべきか、話してきました。皆さんのイメージどおりの自分が、今ここにいますか。

1、2年生の皆さん、今一度自分を振り返り、今年の1年間がほぼ思ったとおりに成長できたと思える人は、令和4年の新年から、改めて、これから1年後、6か月後、来年4月に進級した学年での自分をイメージして、次の目標に向かって実行すべきことを行動に移しましょう。逆にイメージどおりに進んでいない場合は、目標や自分が目指す姿を再度設定し直して、計画を練り直して、修正すべきところを見つけて行動を改めてほしいと思います。年が明けたらとか、3学期からなどと、先延ばしをしないで、明日からでも実行に移してもらいたいと思っています。

次に3年生です。大学入学共通テストまで、あと3週間余りとなってきました。3年生は、「3週間しかない」と焦るのではなく、まだ「3週間もある」と思って残りの時間を大切にしながら勉強に励んでもらいたいと思います。アテネオリンピック競泳800m自由形の金メダリスト柴田亜衣選手が、レース中に自らに語っていた言葉ですが、「慌てず、焦らず、あきらめず」のとおり、当日の朝、テスト開始直前まで、3週間ですること何でもやるという強い意識をもって、いい準備をし、皆さんが持っている実力以上の結果が出ることを望んではいますが、まず、自分の実力どおりの結果、または、少しでも自分が設定した目標に近い結果を出して欲しいと願っています。

はじめに話した「文武心」の校訓の話に戻りますが、これまでに「皆さんが挨拶をする立ち居、振る舞いの態度が素晴らしくて、心が洗われるようであった」という話をしたことがあります。立ち止まって正対して挨拶をする、また、座っていても立ち上がって挨拶をしてくれる生徒などの話です。私がプラス思考で、勝手に北高生をひいき目に見て話しているところもありますが、そのような挨拶をしてくれる生徒は、確実に増えてきているようにも感じています。今後も学校の先生だけではなく、本校を訪れている外部の方々にも心のこもった挨拶が自然とできるようになり、社会人になってもいい習慣としてできる大人に成長してほしいと思います。挨拶の意義や必要性などの理屈の世界ではありません。いい習慣が自分のよりよい生き方につながると信じて、努力してみましよう。

何度も繰り返し話しますが、皆さんが文武両道を目指して学校生活を実践することは、本校の生徒としては、普通にできることであります。さらに望むことは、松山北高生として誇りが持て、豊かな「心」を持った人になることができるように、挨拶や真心のこもった態度などをはじめ、個性や多様な価値を認め合うことができる「文武心」の三道三立ができる人に成長してもらいたいと期待しています。

最後に、松山北高校生の皆さんには、皆さんを支え、応援してくれている先生方が考えている以上に、まだまだ伸びしろがあると信じています。来年は、今年以上に学習、部活動、ボランティア活動など、数多くの場面で松山北高校の生徒が躍動する姿を見せてくれることを願っています。明後日22日は冬至です。ゆず湯に入ると風邪をひきにくいと言われていています。これは、柑橘系に含まれるビタミンC、B1、B2が風邪の予防に効果があるという理由からです。

令和4年の新年、風邪など体調に留意して、新たな目標に向かって、いい表情で元気な姿で3学期の始業式にお会いできることを祈って挨拶とします。